

実践ライブラリー：中学部 数学科 「お買い物をしよう」

計算は苦手、字を書くのもすきじゃない。
なりきって楽しむのは好き
お金は大切、買い物ができるようになりたい。

買い物のやりとりを楽しんでほしい。
具体的な操作を通してお金の計算に
親んでほしい。

① 第一次・駄菓子屋さんに行こう

使う硬貨は10円玉に限定し、実際の駄菓子を並べて
お店屋さんごっこをした。

最初は、予算を意識せず、
好きなものを適当にカゴ
に入れていた生徒も、
10円玉と駄菓子を対応
させると、お金が足りない
ことに気づき、商品を戻したり、
商品を変更したりして
買い物することができた。



3桁や4桁の加減ができる生徒には、電子マネーでの
支払いをOKにし、チャージ額(500円や1000円)から、
買った駄菓子の合計を引く計算などにもチャレンジした。

最後に、レシートを作ろうということで、購入した商品の
合計をプリントに書けるようにした。



おすすめ ポイント

商品はできる限り
本物で。生徒
のやる気が一気
にUP!

② 第二次・激安スーパーによろこ

駄菓子屋さんがスーパーにリニューアルオープンする
という設定で行った。まず、どんな商品が並んでいると
うれしいかリサーチ。ジュースやお菓子など、リクエストが
あった品ぞろえにして、開店準備の価格設定を一緒に
行った。駄菓子屋の値段が生徒たちの実態にあっ
ていたので、『激安スーパー』
というコンセプトで、「コーラが
20円」、「とんがりコーン30円」
など生徒が決めていった。

開店してからは、生徒にも
アルバイトとして、品出しや、レジ
打ちの役割もしてもらいながら
やりとりを楽しみつつ、お金の
計算に取り組んだ。中には、強
盗ごっこを楽しんでから全商品
を買う生徒も現れたため、その生徒
は電子マネーでの支払いにする
などして、生徒の実態に応じた
計算に取り組めた。



おすすめ ポイント

お財布はミニホウ
イットボードにして、
硬貨を貼り付けた。
何枚あるかが一目
瞭然に。